

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	設計製図Ⅱ B
科目基礎情報					
科目番号	0132		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	実験・実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	機械工学科		対象学年	3	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	新編 JIS 機械製図, 吉澤武男他, 森北出版				
担当教員	豊田 香, 村上 信太郎				
到達目標					
① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。 ② CADシステムの基本機能を理解し利用できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	公差と表面性状の意味を高度に理解し図示することができる。	公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。	公差と表面性状の意味を理解し図示できない。		
評価項目2	CADシステムの基本機能を高度に理解し利用できる。	CADシステムの基本機能を理解し利用できる。	CADシステムの基本機能を理解し利用できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	機械技術者は何らかの形で設計に関わる。2年に引き続いて、3年でも製図の基本について学ぶ。更に設計をして製図をするという設計製図の流れや、設計の考え方、公差に関する考え方などを、設計を通じて学ぶ。				
授業の進め方・方法	授業中に作業を進めながら、公差・表面性状等について随時解説していく。図面、計算書等は授業と同時進行で仕上げるので、進度が遅い場合は自主的な作業が必要となる。締切日までにこれらをすべて提出できなければ単位不可となる。				
注意点	適切な設計計算書が書けているか、製作可能な図面に仕上がっているかなど、提出物（計算書20%、図面80%）で総合して評価する。課題を完全提出すること。 【備考】 各自が進度計画を把握して課題に取り組むこと。 原則、課題が完全提出でない場合は採点の対象とならない。 研究室 A棟3階 (A-310 (村上), A-313 (豊田)) 内線電話 8933, 8936 e-mail: s.murakami@attマークmaizuru-ct.ac.jp toyoda@attマークmaizuru-ct.ac.jp (「アットマーク」を@に変える)				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	シラバスの内容の説明, 円錐摩擦クラッチの説明 (講義)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。	
		2週	円錐摩擦クラッチの設計計算 (講義・演習)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。	
		3週	円錐摩擦クラッチの設計計算 (講義・演習)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。	
		4週	組立図 (CAD実習)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。 ② CADシステムの基本機能を理解し利用できる。	
		5週	組立図 (CAD実習)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。 ② CADシステムの基本機能を理解し利用できる。	
		6週	部品図 (CAD実習)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。 ② CADシステムの基本機能を理解し利用できる。	
		7週	部品図 (CAD実習)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。 ② CADシステムの基本機能を理解し利用できる。	
		8週	検図		
	4thQ	9週	弁, 弁部品の設計計算 (講義・演習)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。	
		10週	弁, 弁部品の設計計算 (講義・演習)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。	
		11週	部品図 (CAD実習)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。 ② CADシステムの基本機能を理解し利用できる。	
		12週	部品図 (CAD実習)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。 ② CADシステムの基本機能を理解し利用できる。	
		13週	組立図 (CAD実習)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。 ② CADシステムの基本機能を理解し利用できる。	
		14週	組立図 (CAD実習)	① 公差と表面性状の意味を理解し図示することができる。 ② CADシステムの基本機能を理解し利用できる。	
		15週	検図		
		16週			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	機械系分野	製図	公差と表面性状の意味を理解し、図示することができる。	2	前10,前11,前12,前13,前14,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14
				CADシステムの役割と基本機能を理解し、利用できる。	2	前9,前10,前11,前12,前13,前14,後4,後5,後6,後7,後11,後12,後13,後14

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	100	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0